

令和7年度 授業改善推進プラン【2年】

振返りの視点			児童の実態	指導上の課題
学校経営目標（短期）	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現	○自分の考えをもつことができる。 △自分の考えをすすんで表現することをためらうことがある。	・自分の考えを表現する場の設定。
		基礎学力の定着	○学習課題に、意欲的に取り組んでいる。 △学習の定着に個人差がある。	・意図的な読み書きの場の設定。 ・個に応じた支援の充実。
		体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○積極的に体を動かしている。 △運動の領域により、関心・意欲に個人差がある。	・めあてに向けて工夫する力の育成。 ・各種の運動遊びの楽しさに触れる場の設定。
	健全育成	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	○年間を通して計画的に地域の自然や学校の生き物に触れている。 ○きょうだい班やなかよし班の活動を定期的に行っている。 △あいさつ運動などを通して自発的な活動を行う必要がある。	・相手の気持ちを推し量る力の育成。 ・自らすすんで、挨拶する心情の育成。



小平市立小平第十四小学校

教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	1 「書く」「読む」活動の継続 2 読書活動の充実 3 漢字や言語の特質の理解	・初発の感想や、読み取り後の手紙など、書く活動を通して、 <u>自分の考えを表現する活動</u> を取り入れる。 ・担任や図書館司書の読み聞かせを行い、本に慣れ親しむ。 ・ <u>図書館資料を活用</u> し、季節の言葉や様子を表す言葉を調べる活動を行い、語彙力の向上を図る。 ・ <u>漢字の成り立ち調べ</u> や、熟語探しを通して、語彙力を高め、日常生活で活用する活動を推進する。	
算数	1 問題解決的な学習の充実 2 四則計算の習熟	・ <u>前時の学習との相違点を見付け</u> させ、既習事項を活用し、問題解決させる。 ・単元の学習の時間だけではなく、年間を通して、家庭学習や習熟の時間を設定する。	
生活	1 地域参画型授業の充実 2 学びの共有、発信	・ <u>学童農園と連携した活動</u> を計画的に取り入れる。 ・学習の <u>気付きについて交流</u> する。新たな疑問などを共有し、学習計画を立てさせる。	
音楽	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・まねっこ遊びやリレーなどで楽しみながら歌ったり、演奏したりする活動を多く設定し、表現することに慣れ親しむ。 ・ <u>曲に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子をしたり</u> して楽しみながら曲想を感じ取る。	
図工	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・ <u>様々な表現方法や素材に触れ合うこと</u> で、児童の意欲や発想を高める。 ・ <u>作品を鑑賞し合うこと</u> で、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かすことができるようにする。	
体育	1 運動遊びの楽しさに触れる 2 帯活動による体力向上	・ <u>各種の運動遊びの楽しさに触れ</u> 、運動が苦手な児童も楽しめるようなルールや場の設定をする。 ・ <u>単元を通して必要な感覚づくりの運動</u> に取り組む。	
道徳	1 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・ <u>ペアでの話し合いの場や全体での発表の場</u> を通して互いの考えを広めたり、深めたりする活動を増やす。 ・ <u>学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業</u> を行う。	
学級活動	1 学級・学年文化の創造 2 きょうだい学級の関わり	・ <u>クラス遊びなどを通して学級文化</u> を創り、継続して取り組む。また、学年の活動を定期的に取り入れる。 ・ <u>きょうだい学級に、お礼の手紙を書く</u> など、計画的に交流する。	